

関西社会福祉学会ニュースレター

2012年度 2号

2012年度 関西社会福祉学会

年次大会の開催にあたって

開催校ご挨拶

関西大学人間健康学部
学部長 狭間香代子

2012年度の関西社会福祉学会年次大会は、2013年3月10日(日)に、関西大学人間健康学部(大阪府堺市)において開催いたします。

今大会の開催にあたり、開催校としての挨拶と案内を申し上げます。

関西大学人間健康学部は2010年4月に堺市浅香山駅前開設された関西大学126年の歴史の中で最も新しい学部です。本学部には、福祉と健康コースおよびスポーツと健康コースの2つのコースがあります。福祉と健康コースでは、社会福祉士受験資格を取得できるカリキュラムを組むとともに、スポーツのコースとの連携を活かした科目も設定して学生が幅広い視野から学べるようにしています。健康をキーワードに、社会福祉学とスポーツ学との学際的な教育研究に取り組んでいます。

また、キャンパスが立地する堺市との地域連携事業も積極的に展開しており、講演会、調査研究、市民向け講座など、数多く実施しています。

今年度の大会では、「障がい者の社会生活を支える」をメインテーマに、同タイトルのシンポジウムを計画しています。

2006年12月13日、障害者の権利に関する条約が第61回国連総会において採択されました。この条約を批准するためには、国内法の改正整備が必要との認識から、現在、障害者政策の段階的な改革が進行しています。具体的には、障害者基本法の改正(2012年5月21日に全面施行)、障害者政策委員会の設置(2012年7月23日第1回会合)、障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律(障害者虐待防止法)の制定(2012年10月1日施行)などです。

今後も、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)の施行予定(2013年4月1日)、障害者差別禁止法(仮称)の策定予定など、障がい者福祉の大幅な改革が進むことになっています。

このように、障がい者政策の改革が進む現在、本シンポジウムにおいては、障がい福祉の現場での取り組み、施設からの地域移行支援や障がい者の地域生活支援の現状、障がいをもつ当事者からみた政策評価などを取り上げて議論したいと考えています。会員の皆さまにおかれましては、ぜひともふるってご参加いただき、議論を深めていただきたいと思います。

なお、本シンポジウムは市民への公開とする予定で準備をしています。シンポジウムを通じて障がい者政策への理解を市民レベルでも深め、地域での取り組みを発展させていきたいと考えています。

2012年度 関西社会福祉学会年次大会・

日本社会福祉学会関西地域ブロック総会案内

標記の大会・総会を下記のとおり開催します。会員の皆様におかれましては、ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時：2013年3月10日(日) 10:00～18:30

場所：関西大学人間健康学部(堺キャンパス)

大阪府堺市堺区香ヶ丘町1丁11番1号

(南海電鉄高野線「浅香山」駅下車、徒歩1分)

プログラム(案)

9:30 受付開始

10:00～12:00 自由研究発表

12:00～13:00 昼食休憩(昼食は、各自ご準備ください。近所には、コンビニはありますが、食堂等食事のできる場所はあまりありません)

13:00～13:45 年次総会

13:45～14:00 休憩(会場設営)

14:00～16:30 シンポジウム

「障がい者の社会生活を支える」

●シンポジスト

- 障がい福祉事業への取り組み：原田徹(ライフサポート協会住吉総合福祉センター館長)
- 障がい者の地域生活支援：三田優子(大阪府立大学・地域保健学域)
- 当事者からみた障がい者政策の現在：演者交渉中

●指定討論者

北野誠一氏(内閣府障害者政策委員会委員、特定非営利活動法人おおさか地域生活支援ネットワーク理事長)

●コーディネーター

黒田研二(関西大学人間健康学部)

16:45～18:30 情報交換会

大会参加申し込み・問い合わせ先：

関西大学人間健康学部 山縣文治研究室

E-mail : fyama@kansai-u.ac.jp

ファックス : 072-229-5082

※関西社会福祉学会年次大会および情報交換会への参加申し込みにつきましては、①お名前、②ご所属、③懇親会参加の有無をご記入のうえ、上記メールまたはファックスにて申し込んでください。電話でのお問い合わせはご遠慮下さいますようお願い申し上げます。※会場の準備の都合上、3月1日(金)までにお申し込み下さい。

・会員番号-9 ポイント明朝

・キーワード-9 ポイント明朝

※以上を用紙の上側に罫線で囲んで記載してください。

見出し-10 ポイントゴシック

本文-9 ポイント明朝 1行 48~50 字程度

(4) 自由研究発表要旨と資料について

提出いただいた自由研究発表要旨は、当日の大会・総会資料と一緒に綴じ込み配布いたします。発表場所と時間は後日お知らせいたします。なお、当日配布資料については、各自印刷の上、30部を持参してください。

(松端克文)

自由研究発表の募集

1. 申し込みの締め切りについて

発表を希望される方は、メールにて、2013年2月12日(火)までに、「関西社会福祉学会自由研究発表申し込み」と表題をつけ、発表テーマ(主題)、氏名、所属、連絡先(メールアドレス及び電話番号)、必要な機器(パソコンなど)を必ずお書きのうえ、下記の宛先までメールにて申し込んでください。(なお、お申し込み後1週間以内にメールにて受付確認の返信をいたします。連絡のない場合はお問い合わせください。)

※パソコンは Windows のみの対応となります。

2. 自由研究発表申し込みの宛先

関西大学 人間健康学部 山縣文治研究室

E-mail : fyama@kansai-u.ac.jp

3. 自由研究発表要旨について

自由研究発表要旨を次の要領に従い、2013年2月25日(月)までに下記の宛先まで、メールにて送付してください。

E-mail : fyama@kansai-u.ac.jp (山縣文治研究室)

- ・メールの件名には「自由研究発表要旨」と明記してください。
- ・発表要旨は、ワードまたは一太郎で作成いただき、文書と PDF 文書(レイアウトの確認のため)の2つをお送りください。PDF 文書の作成が困難な場合、ワードのみでも結構です。

<自由研究発表要旨の様式>

(1)用紙サイズ・枚数：1発表につき A4 版 2 ページまで 横書き

(2)余白：上下左右 25mm (目安)

(3)フォント

- ・主題-12 ポイントゴシック
- ・副題-10.5 ポイントゴシック
- ・所属-9 ポイント明朝 氏名-10 ポイント明朝

第27回若手研究者・院生情報交換会案内

テーマ：「社会福祉協議会と地域福祉
—自主的研究会の公開討議—」

日時：2013年1月27日(日) 14:00~17:00

(終了後、懇親会の開催を予定しています)

報告者：岡本栄一(大阪ボランティア協会顧問)

所正文(堺市社会福祉協議会)

小野達也(大阪府立大学) ほか

場所：龍谷大学大阪梅田キャンパス研修室

(大阪市北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザウエストオ
フィスタワー14階)

参加申し込み：ono@sw.osakafu-u.ac.jp (小野達也)

宛に、①お名前、②ご所属、③懇親会参加の有無をご記入のうえ、お申し込み下さい。参加費は無料です。資料準備等の都合上1月21日(月)までにご連絡下さい。よろしくお願ひします。

概要：地域福祉の主流化が指摘され、地域包括ケアや生活困窮者対応など、「地域」への注目が高まっています。こうした中で、社会福祉法で地域福祉を推進する団体と位置づけられた社会福祉協議会は、その存在自体が問われています。このように差し迫った状況の、それも政策や組織的な内容をはらんだ問題に対して、研究はどのようにアプローチできるのでしょうか。今回の情報交換会は、社協のありかたについて検討してきた自主的な研究会を若手研究者や大学院生のみなさんに開いて公開議論を行います。この研究会は、岡本栄一先生の呼びかけで始まり、社協職員と研究者がともにつくっている場です。社協や地域福祉に関する実践や研究動向を知る機会としてだけでなく、自主的な研究会の進め方についても共有できればと考えています。一味違う試みにしたいと思いますので、ぜひご参加ください。(阪口春彦)

第26回若手研究者・院生情報交換会報告

2012年11月23日、龍谷大学大阪梅田キャンパスにて第26回若手研究会・院生情報交換会が行われました。今回は院生企画ということで、「研究と実践をつなぐために…」をテーマに大阪府立大学の院生有志で企画をさせていただきました。

初めに、竹添展氏（龍谷大学大学院）から報告いただきました。高齢者福祉施設での勤務経験を持つ竹添氏は、高齢者福祉施設における文化の継承がどのようになされているのかフィールドワークやヒアリングから明らかにされていました。後半のディスカッションでは現場職員から一歩離れ、研究一本の道に絞ることになった経緯など、様々な裏話も語っていただきました。

次に、大阪府の福祉職と大学院生を両立しておられる増井香名子氏（大阪府立大学大学院）より、研究と実践をつなぐ試みについての具体的な提案などをお話いただきました。対象者—実践者—研究者の3者にとって「WIN—WIN—WIN」となるための研究を意識すること、実践者にわかりやすい研究知見の伝え方などが印象的でした。

お二人からの報告の後、コメンテーターの岩間伸之先生（大阪市立大学）よりコメントをいただきました。ソーシャルワークの研究者としてその原理や本質を丁寧に追求していくことはもちろん、それだけにとどまらず援助や政策の方向性まで打ち出していく必要があること、さらに研究のプロセスには必ず底流にある価値とのすり合わせがあり、そのプロセスはソーシャルワーク実践のプロセスと同じものであるというお話をいただきました。

最後はディスカッションを通して、参加者のみなさんひとりひとりの悩みや思いを共有することができました。研究と実践を両立することの難しさ、実践者に現場でいかにかうまく研究成果や知見を活かしてしてもらうのか、実践者教育の中で実践者に研究手法を身につけてもらえるようなカリキュラムの必要性など、様々な立場からの悩みやご意見を伺うことができました。

今回のテーマはすぐに答えが見つかるものではありませんが、研究者としていかに実践につながる研究ができるのかを意識、模索しつつ、日々努力を重ねていこうという決意を新たにすることができました。今回企画をさせていただき、非常に良い経験となりました。支えて下さったみなさま、ご参加くださったみなさまにこの場を借りて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

（大阪府立大学大学院人間社会学研究科社会福祉学専攻 博士後期課程3年 木曾陽子）

B会員会費納入のお願い

日本社会福祉学会の関西地域ブロックの方は自動的に関西社会福祉学会の会員（A会員）となり、会費は日本社会福祉学会からの還元金を当てることとなります。一方、日本社会福祉学会の関西地域ブロック員でない方、日本社会福祉学会の会員ではないが関西社会福祉学会の会員である方（B会員）の年会費は2,000円です。従って、B会員の方で、本年度（2012年度）会費2,000円を未納の方は、納入していただくようお願いいたします。会費納入が3年間ない方については、B会員を退会したものと扱わせていただきます。

なお、B会員の方で、日本社会福祉学会関西地域ブロックの会員になられた方は、お手数ですが事務局までご連絡ください。

B会員会費納入方法について

B会員の方には指定の銀行口座に年会費（2,000円）を納入していただきますようお願いいたします。その際には、ご利用の個人名義口座から学会名義口座への振り込みをしていただくと、振込者の氏名が学会通帳に記帳され、こちらの確認作業が容易になり助かります。なお、振込手数料につきましては、各自でご負担いただきますようお願い申し上げます。

金融機関 三菱東京UFJ銀行

支店 大阪営業部

口座名義 関西社会福祉学会

口座番号 4530873

（空閑浩人）

機関紙担当から

今年度第2号を発行いたします。

3月10日（日）の「大会」にふるって参加下さいますようお願い申し上げます。

（小山 隆）

関西社会福祉学会ニュースレター

発行日 2013年1月10日

発行者 会長 岡本民夫

関西社会福祉学会

事務局 龍谷大学

〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷1-5

龍谷大学 6号館現場実習指導室気付

電話：077-544-7223

FAX：077-544-7229